

編 集 後 記

この原稿を書いている9月30日18時の室内温度は26.5度ですが、今年も本当に暑い夏でした。

2024年の夏も暑い日が続き、9月に入っても相変わらず30度を超える日が続いています。9月2日に行われた気象庁の発表によると、2024年6月～8月までの気温は、気象庁が1898年に統計を取り始めてから最も高くなったとのこと。横浜市内の34地点で観測された7～8月の平均気温が28.8度に上り、最近の10年間で最も高かったことが、市環境科学研究所の観測でわかりました。猛暑日(最高気温35度以上)や真夏日(同30度以上)、熱帯夜(夜の最低気温25度以上)の日数も、最多記録を塗り替え、都筑区では、最高気温が39.4度に達した地点もあったみたいです。

世間では熱中症による救急搬送が過去例にないくらいのが示されています。神奈川県ホームページに記載してある令和6年度の熱中症による救急搬送状況ですが、数えてみると5月は97件、6月は184件、7月は1379件、8月は874件、9月は270件でした。

7月、8月、9月はPCOの業務としてハチの駆除の最盛期です。ハチの駆除で使用する防護服は被ったことのある人ならわかりますが炎天下での使用はかなり過酷です。救急搬送されることが多いこの暑い時期に協会員でハチの駆除中に熱中症により救急搬送されたという事例は聞いたことがありません。協会員がタフなのか、あるいはハチの防護服が以前とは違いファン付きや冷却しやすい構造等暑さ対策が施されているおかげなのか。これについては協会員からも情報を聞いてみたいと思います。

とにもかくにも今年も無事に夏を乗り越えられて良かったと思うのと同時に来年はもう少し暑さ控え目な夏であることを切に願っています。

令和6年10月

企画広報委員会 中丸裕嗣